

今月のテーマ
ホットトーク 100 回目



田上市長の
ホットトーク
～自らの思いを皆さんに語るコラム～

特集

市民

市政

「ご意見」
プレゼン

生活情報

子育て

健康

福祉

税

講演・講座

もよおし

おしらせ

募集



広報課時代に担当していたテレビ取材の現場打ち合わせの様子（昭和56年。左が田上市長）

このコーナーが始まったのは平成21年11月号です。その時その時に思ったことや感じたことを、自分の言葉で市民の皆さんに伝えたいと思い、書き続けてきましたが、今月号でちょうど100回目ということになりました。

テーマは、市政に関することを書いたり、よその国に出かけた時に感じたことを報告したり、読んだ本や観た映画などの感想を書いたりとさまざまでしたが、いつの間にか3ケタの回数に達しました。これまで読んでくださった皆さんに心から感謝します。

* * *

私が市役所に入ったのは昭和55年10月。最初の仕事は、広報課でテレビ番組をつくることでした。当時、民放はまだ2局でしたが、毎週2本の実写番組をつくる仕事は結構忙しい、締め切りに追われながらも、大変楽しかったことを覚えていますが、

とてもラッキーだったのは、最初に広報の仕事させてもらったことで、市政のいろいろな分野について幅広く勉強できたこと、いろいろな人に出会うことができたことでした。

たとえば「長崎の史跡シリーズ」を始めたことで、歴史の文献を調べたり、市内の主だった史跡のほとんどを訪れたりしました。そのおかげで、長崎の歴史の広さと深さを知ることができました。また、全国の市町村で同じ広報の仕事をしている仲間たちと出会い、広報の仕事にとって一番大事なことは、まちを愛すること、そのまちの人を大切に思うこと、ということも教わりました。

広報課でのさまざまな体験は、長崎のまちと人に関わる時の、私自身の背骨をつくってくれたような気がします。文章を書くことの難しさと楽しさも、広報の仕事を通じて学びました。この「ホットトーク」のコーナーは、そういう広報課での体験が下敷きになって続けてこられたような気がします。

* * *

「ホットトーク」というコーナー名には、ちよつと息抜きのつもりで気軽に読んでくださいたいという気持ちと、その時々、ホットな話題をお届けします、というタジヤレのような2つの気持ちが入められています。

時折「ホットトーク」を読んでいるかたから感想を聴くことがありますが、うれしくなると同時に、「ああ、読んでいたんだな」とホッとします。これは、後で気づいた、私だけの「ホットトーク」の3つ目の意味です。読者のかたからの反応がこんなにもうれしいものだということは、このコーナーを始めから知りませんでした。

* * *

旅先できれいな風景を見たり、珍しいものを見つけたたり、おいしいものを食べたりした時に、誰かとその感動を分かち合いたいと思うことがあります。お互いに忙しくなかなか話ができない友達と、時にはゆつくり話をしたいと思うことがあります。「ホットトーク」を書くときの気持ちはそれに近いような気がします。

拙い文章ですが、101回目からの「ホットトーク」もよろしくお願いします。



出かけて見る、知るまちのオススメスポット



地域住民の憩いの場
深堀ふれあい広場

長崎駅から車で約40分の場所にある深堀ふれあい広場。深堀地域センターのすぐ隣にあるこの広場には、もともと県警アパートがありました。広場をつくるにあたり、地域の皆さんとワークショップを何度も行い、具体的な敷地の活用方法を話し合っており、約3年かけて完成しました。現在は、深堀地域センターの駐車場として利用するだけでなく、公民館まつりなどのイベントスペースとしても活用されています。

広場には、石塀や、深堀の地図や歴史などを掲載した案内板、土井首自治会との友好の証であるユウコウの木、えびす様が描かれた陶板などがあり、深堀地区の皆さんの愛情がたっぷり盛り込まれています。